

「建具とガラスの組み合わせ」による開口部の熱貫流率

株式会社LIXIL

算定対象となるエネルギー消費用途: 暖冷房(外皮: 開口部の熱貫流率)・木造意、扉ドア・引戸(大部分がガラスで構成される開口部)

こちらの対象製品性能一覧は、一般社団法人住宅性能評価・表示協会運営の「窓熱・省エネ設備機器等ポータルサイト」に登録済みです。下記製品は構造・形状等での性能確認が可能であるため、上記ポータルサイトにおける性能確認区分は「2」となります。

Table with columns: 建具の仕様, ガラスの仕様, ガラス中空層の仕様 ※3, 開口部の熱貫流率 [W/(m²)] ※4, LIXIL適合商品. The table is divided into sections for 樹脂製建具 (木製建具) and 樹脂(または木)と金属の複合材料製建具. It lists various window types like ダブルLow-E三層複層, Low-E三層複層, and Low-E複層, along with their thermal conductivity values and compatible LIXIL products.

※1 「樹脂(または木)と金属の複合材料製建具」とは、窓外側の大半に金属、窓内側の大半に樹脂(または木)を使用した構造をいいます。
※2 「金属製断熱構造建具」とは、金属製の建具で、その下及び種々の中間部を断熱性を有する材料で接続した構造をいいます。
※3 「ガラス」とは、アルゴンガス又は熱伝導率がこれと同等以下のものをいいます。
※4 国立研究開発法人建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準」に準拠したエネルギー消費性の評価に関する技術情報(の熱貫流率及び線熱貫流率(窓等の大部分がガラスで構成される開口部)の熱貫流率の表及び付属部材が付与される場合、危険室に面する場合の計算式)によります。
尚、本表は一般社団法人日本サッシ協会ホームページ「確認」欄で確認できます。
<https://www.jcma.or.jp/Portals/0/Images/sashi/gijyuu/20-0501.pdf>